



## 「新たな生活への移行に向けて」～卒業生支援～

本分教室では、高等部を卒業した生徒に対して、卒業後1年間の移行支援を行っており、「卒業生支援」と呼んでいます。月に1～3回、前担任等が卒業生の部屋に出向き、読み聞かせ・手遊び・歌・マッサージ・散策等、在学中に行っていた学習活動を通して支援します。本支援により、在学中に培った力を病棟の生活スケジュールの中で発揮して、スムーズに卒業後の生活へ移行できることをねらいとしています。

今年度の対象者はEさんとFさんの2名で、それぞれ5月と6月に卒業生支援を行いました。

Eさんは散策、Fさんは読み聞かせなどを行いましたが、久しぶりの活動のせいか、始めはやや緊張の面持ちに見えました。次第に、腕を動かしたり発声したりして慣れてきた（思い出してきた）様子うかがえました。

卒業生支援も「連携による教育」の一つであると考えています。卒業後の日々の環境の変化、それに伴う戸惑いが少しでも緩和され、スムーズに新たな生活へ移行できるよう、医療と協力しながら取り組んでいきたいと考えています。



【タブレットを使って・・・】



【さんぽ（外気浴）・・・】